

横須賀
三浦

カレーの街のウォークラリー

横須賀市青少年育成推進員連絡協議会 広報研究部会

横須賀に住みながらも、訪れる機会がなかったり、気付かずに通り過ぎていた史跡や景勝地もあります。少しの時間、足を止めると地域の良さを発見できることもあります。

12月9日(土)『第12回中学校対抗ウォークラリー大会』を開催しました。昨年は「大楠山の自然を感じる街、池上を歩こう!」をキャッチフレーズに17校43チーム、221名の生徒、スタッフとして青少年育成推進員と地域協力会の方々126名の総勢347名が参加し、池上中学校の吹奏楽部の演奏に送られ10時から順次スタートしました。

さて、ウォークラリーの楽しみの一つは、何といても、昼食でしょう。今回、昼食を準備している調理室をのぞいてみました。室内に入ると湯気が立ち込める中、育成推進員、地域協力会の方、総勢22名が、カレーライスの具材を準備したり、洗い物をしたりと、忙しく動き回っていました。約2時間で、500食作

るとのことで、豚肉20キロ、ニンジン40本、ジャガイモ120個、タマネギ120個、お米38キロを使用しました。

12時半近くになって生徒たちが、順次戻って来ました。無事にゴールした安堵感と空腹感で、皆思いっきりカレーライスをおぼっていました。おかわりして4杯も食べた生徒もいて、大好評でした。カレーライスを作ってくれた皆様に感謝、感謝です。



横須賀市立中学校対抗ウォークラリー

動 報 告

川崎

「走って!飛ばして!最幸のみらいへ」

川崎市幸区青少年指導員連絡協議会 会長 田村 京三

幸区青少年指導員連絡協議会は南河原・御幸・日吉の3地区の青少年指導員会で構成されています。各地区でウォークラリー等独自のイベントの開催やパトロールなど積極的に活動していますが、主催事業として区内指導員全員で企画・運営を行っているのが小学生を対象とした「子どもとふれあう紙ヒコーキ大会」です。



幸区リレーカーニバルの様子

この大会は、『青少年に、自発的な参加を促す場を提供し、遊びを通じて地域の人々とふれあうことにより、「思いやりの心」や「協調性」などを養い、情操豊かな青少年を育成するための一助とする』ことを趣旨とし、参加者が自分で折った紙ヒコーキを飛ばし距離を競い合います。競争相手ではありますが、児童同士で協力し合っ

て紙ヒコーキを作成したり、いい記録が出た時に一緒になって喜ぶ姿が見受けられ、とても有意義なイベントとなっています。

また、幸区の大イベントとして、幸区リレーカーニバルがあります。今年で46回目を数えるこのイベントは、町内会・自治会対抗で様々なリレー競技を一日かけて行う伝統的な催しで、毎年約1,000人も選手の参加があります。

青少年指導員はスポーツ推進委員や子ども会、PTAとともに競技運営にあたり、このイベントを支えています。仲間をつないで走るリレーを通じて区民同士の連帯意識を高め、明るく住みよいまちづくりに貢献しています。

今後もこのような活動を大切にし、青少年の健全育成や地域の活性化に尽力していきます。